



Well - Being Challenge おおがわら

町長杯春季ソフトボール大会

4月12日と19日に、町長杯春季ソフトボール大会が大河原南小学校グラウンドと大河原公園多目的広場を会場に開催されました。参加者は、青空の下、心地よい汗を流していました。

大会結果

優勝 金ヶ瀬1区
準優勝 中町



卓球教室

4月9日から5月14日までの期間で(合計5回)、ヒルズはねっこアリーナで卓球教室が開催されました。

大河原町卓球協会会員が講師となり、参加者に基本の動作から丁寧に指導を行いました。



バドミントン教室

5月10日から、大河原町バドミントン協会会員が講師となり、バドミントン教室がヒルズはねっこアリーナで開催されています。

教室は6月7日・14日、7月5日(各日曜日18時～20時)にも開催されます。途中からの参加も可能となっています。教室の詳細については、「広報おおがわら5月号 まちの情報」に掲載しています。



申込先
ヒルズはねっこアリーナ
☎0224-53-1010

ニュースポーツ体験会参加者募集

☆今回は、ピククルボールとモルックです☆

日時 6月17日(水) 10時～12時
会場 ヒルズはねっこアリーナ

持ち物 動きやすい服装、タオル、体育館シューズ、飲み物等
参加費 無料 ※当日、直接ご来館ください。

WBCおおがわらの問合先▶スポーツまちづくり推進課 ☎0224-87-8040

かんたん 健康 Cooking

アスパラの炒め和え



写真は1人分

【ひとり分栄養価】
エネルギー：95Kcal 塩分：1.5g



調理担当 ヘルスメイトからの一言

様々な食材の組み合わせで調理しても美味しいです！

塩谷 敏子(西原区)

問合先 健康推進課 健康推進係(1階④番窓口)
☎0224-51-8623



材 料(2人分)

- ・グリーンアスパラガス……………3本
- ・しめじ……………50g
- ・にんじん……………50g
- ・ちくわ……………2本
- A { ・めんつゆ(3倍濃縮)……………大さじ1
- ・酢……………大さじ1/2
- ・ごま油……………小さじ2

作 り 方

- ①アスパラガスは根元の皮を薄く剥き、斜め切りにする。にんじんは千切りに、ちくわは斜めに切る。
- ②しめじは根元を切り、手でほぐす。
- ③フライパンにごま油をひき、①と②の材料を加え、焼き色がつくまで中火で炒める。
- ④ボウルにAの調味料を混ぜ合わせ、③を加えて和える。

これまでのレシピはコチラから！



町長エッセイ さくら並木

去る4月29日(昭和の日)に、政府主催による『昭和100年記念式典』が開催され、宮城県町村会を代表して出席してきました。今年が昭和元年から起算して満100年を迎えることを記念して、激動と復興の昭和の時代を顧み、将来に思いを寄せる機会となるよう挙行されたものです。日本武道館に天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、参加者が7000人を超える盛大なものでした。

私は、戦後の昭和28年生まれです。『昭和はどんな時代?』と問われれば、物心ついた頃には経済成長と生活の豊かさが感じられる時代(家電・自家用車・新幹線等)でした。軍国主義と戦争の拡大、敗戦からの復興と民主化等の厳しい時代には実感がありません。

どちらかと言えば、経済成長の波に乗って人々が明るい未来を信じ、大衆文化(映画・歌謡曲・漫画・アニメ・アイドル・テレビ等)が一気に花開いた活気あふれる豊かな時代の印象です。因みに、「なごり雪・木綿のハンカチーフ・時代」等の曲が懐かしく思えます。

日常的にジェネレーションギャップを感じてしまうこの頃ですが、世代を超えた理解や共感をつい求めてしまいます。しかし、幸せや生きがいの実感を大切に、先人の躍動する挑戦の数々に学び、昭和の記憶を共有することは、平成・令和を生きる世代にとっても意義のあることではないかと考えています。

そして、いつの時代にあっても忘れてはならない平和への誓いを継承し、国際社会の安定と繁栄へ貢献する意識を持つ機会としなければならぬと思った次第です。

(5月18日記)

tree doctor

春の訪れとともに私たちの目を楽しませてくれるソメイヨシノが、いま全国的な転換期を迎えています。今年の4月、桜祭り賑わう上野公園で、樹木トラブルの調査にあたる専門家グループに遭遇しました(写真①)。彼らが花見シーズンの最中に連日調査を行っている背景には、桜が抱える「寿命」と「安全性」という、避けては通れない深刻な問題があります。

戦後の高度経済成長期に一斉に植えられたソメイヨシノは、いまやその多くが樹齢60年を超え、寿命を迎えつつあります。そこで特に懸念されているのが、倒木による事故のリスクです。例えば、幹の直径が30センチほどの木であっても、倒れた際の重さは約1トンにも及びます。多くの人が集まる花見シーズンに倒木が起きれば、重大な事故に直結しかねません。さらに、近年の記録的な夏の高温乾燥も、根が浅く広がる性質を持つソメイヨシノにとっては大きな負担となり、樹勢を弱める要因となっています。

こうした自然環境の変化に加え、人間側の管理上の課題も浮き彫りになっています。電線や看板を避けるために太い幹を途中で切ってしまう、いわゆる「ぶつ切り(写真②③の点線)」が、桜の寿命を縮める

第57回 ぶつ切り・伐採が進むソメイヨシノの現状 前編



町内在住の樹木医

尾形政幸先生の花は桜木



致命傷となっているのです。ソメイヨシノは他の樹木に比べ、切り口から腐朽菌が入り込みやすく、そこから内部が腐りやすい繊細な性質を持っています。良かれと思いつけた管理が、結果として木を内側から蝕んでしまうのです。

「日本の顔」とも言える風景が消えゆく寂しさはありますが、千葉県八千代市の「新川千本桜」のように、新しい品種で次世代の名勝を育てる前向きな動きも始まっています。私たちの町の桜も、ただ眺めるだけでなく、いま「安全に、美しく次世代へ繋ぐ」ための知恵と覚悟が求められています。